

参考資料1 土木学会「見える化」データ

参考資料1 土木学会「見える化」データ

土木学会が現在どのような状況にあるかを、目先の現象や各人の印象に捉われることなく、様々なデータを基にできる限り正確に把握し、それを踏まえて今後の方針を議論し、決定していくことは極めて大切である。また、その内容を学会員のみならず広く社会に公開し、開かれた学会として、より良い方向へと発展し続ける必要がある。

土木学会では、「90年誌」（土木学会略史1994－2004）作成を機に、各部門においてデータを継続的に整備することを行ってきた。そして、「JSCE2010」を策定するにあたり、このデータを企画部門に集約する体制を整え、「見える化」と称して学会の現況把握および公表に向けて、各項目の時系列変化を捉えてきた。ここでは、その中から特に重要なものを抜粋し、参考資料として掲載する。

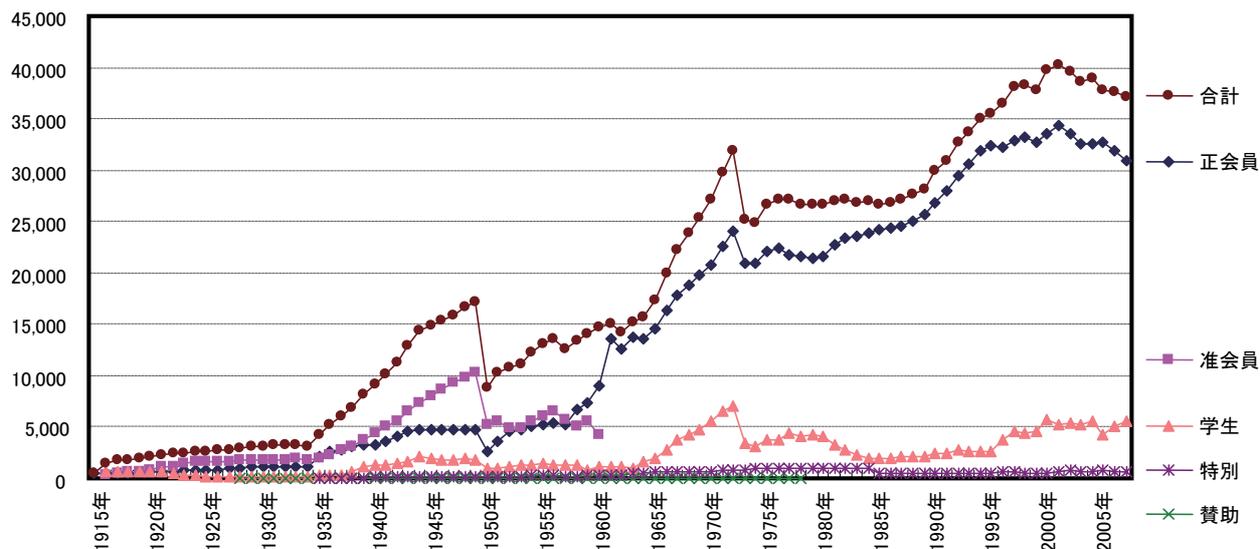
なお、現時点では、12部門から100項目を越えるデータを収集し、企画部門において一括管理を行っている。データ更新は毎年とし、理事会での報告の後、ホームページで公開することとした。また、5年ごとの土木学会の活動目標と行動計画の策定の際には、この結果を再整理するとともに参考資料として掲載することとした。

「見える化」データ

- 1 会員区分別会員数
年齢階層別個人正会員数
性別会員数
技術者資格 認定者数
総収入と総支出
収支状況
- 2 全国大会 年次学術講演会 開催場所
年次学術講演会 講演数と参加者延べ人数の推移
年次学術講演会 部門別講演数の推移
年次学術講演会 部門別講演数の推移（1996年を1.0とした場合）
土木学会論文集 掲載数
土木学会論文集 掲載数（1997年を1.0とした場合の推移）
- 3 記者発表数
新聞掲載数
学会ホームページの閲覧状況
国際ジョイントセミナー開催数と派遣者数
災害調査団派遣実績
- 4 トークサロン参加者数
図書館来館者数
イブニングシアター参加者数
新刊数と刊行物売上額の推移

会員区分別会員数

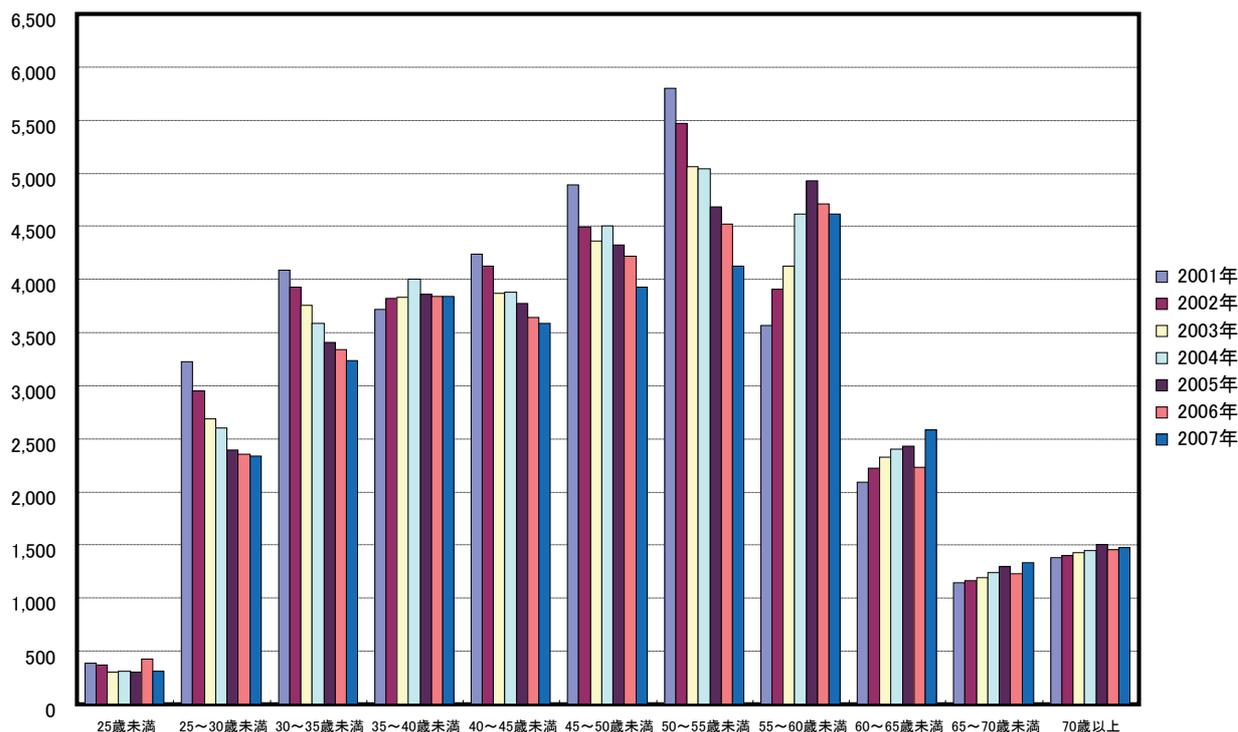
会員数(人)



- * 1984年以降は定款改正により名誉会員は称号となり正会員数に含まれる。また、法人正会員制度となり特別会員と分離した。
- * 正会員数は、個人正会員数と法人正会員数の合計。
- * 1914年～1943年については、40年史データ
- * 1944年、1945年については、推定値
- * 1946年～1994年については、80年史データ
- * 1995年～2003年については、90年史データ
- * 2004年～2006年については、会員課調べ

年齢階層別個人正会員数

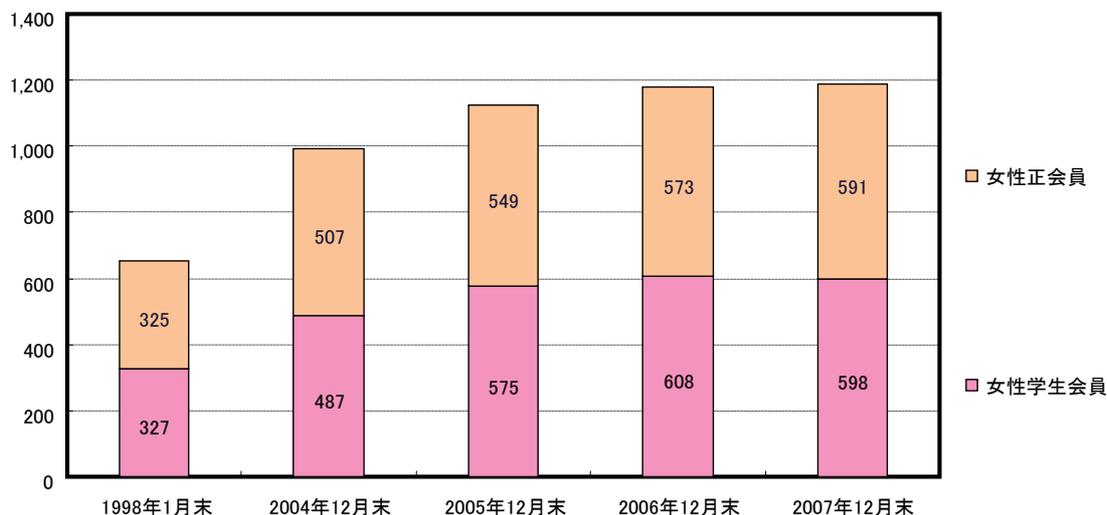
会員数(人)



性別会員数

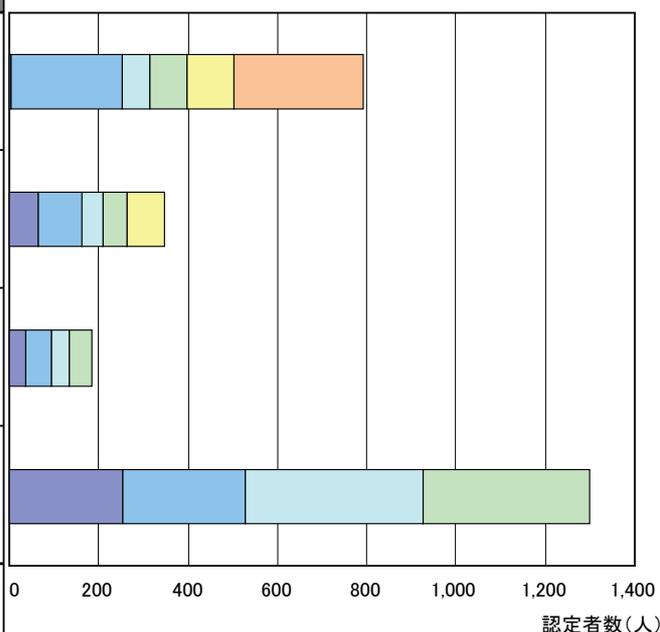
会員種別	1998年1月末		2004年12月末		2005年12月末		2006年12月末		2007年12月末		
	会員数(人)	割合(%)	会員数(人)	割合(%)	会員数(人)	割合(%)	会員数(人)	割合(%)	会員数(人)	割合(%)	
正会員	全体	33,473	100.0	33,887	100.0	32,961	100.0	32,144	100.0	31,384	100.0
	男性会員	33,148	99.0	33,380	98.5	32,412	98.3	31,571	98.2	30,793	98.1
	女性会員	325	1.0	507	1.5	549	1.7	573	1.8	591	1.9
学生会員	全体	6,127	100.0	6,148	100.0	5,592	100.0	5,987	100.0	6,452	100.0
	男性会員	5,800	94.7	5,661	92.1	5,017	89.7	5,379	89.8	5,854	90.7
	女性会員	327	5.3	487	7.9	575	10.3	608	10.2	598	9.3

会員数(人)



技術者資格 認定者数

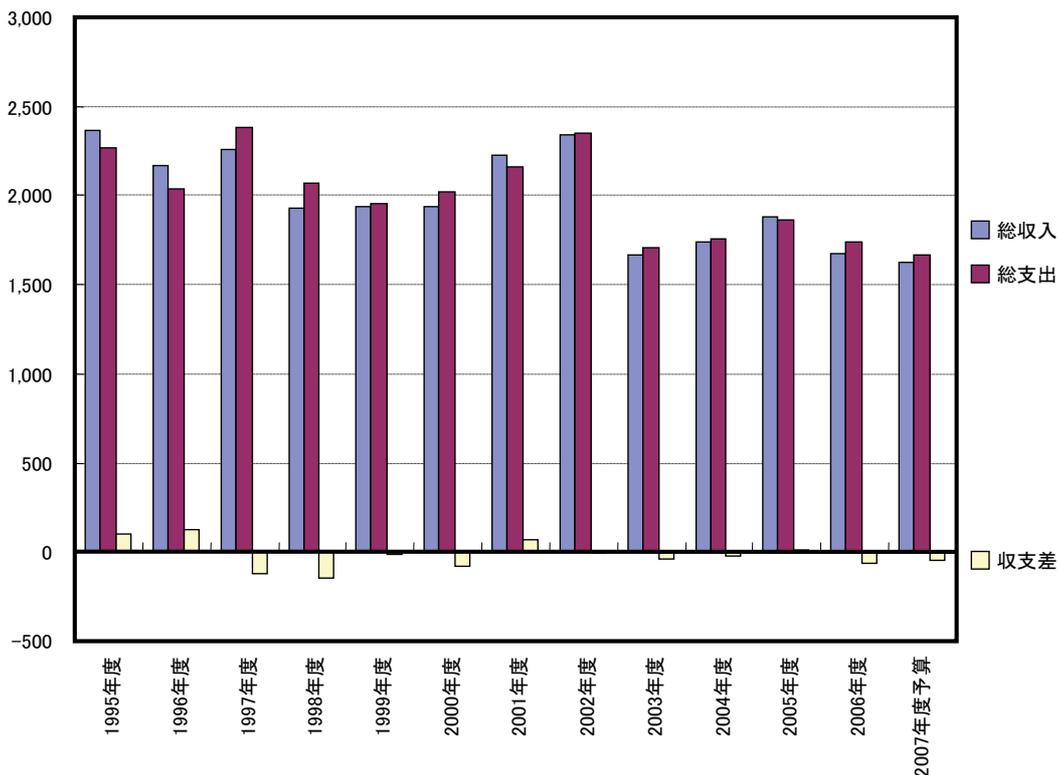
	2006年度	2005年度	2004年度	2003年度	2002年度	2001年度	合計
特別上級	3	252	61	81	106	290	793
上級	66	96	49	51	85		347
1級	36	58	39	51			184
2級	253	277	395	374			1,299
合計	358	683	544	557	191	290	2,623



* 認定者数は、2007年3月30日までに申請のあったもの
 * 技術推進機構：2008年1月9日時点集計

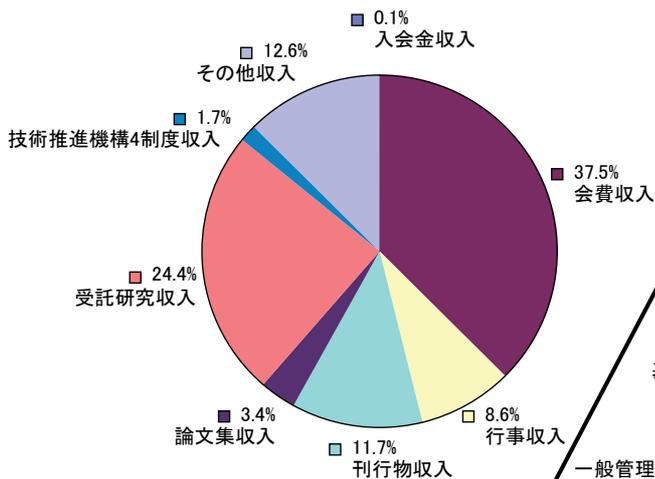
総収入と総支出

(百万円)

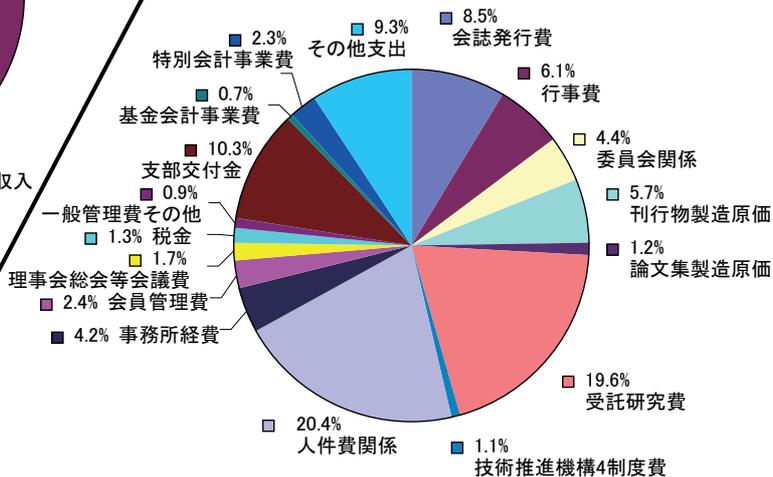


収支状況

2006年度収入内訳



2006年度支出内訳



* 2006年度データより作成

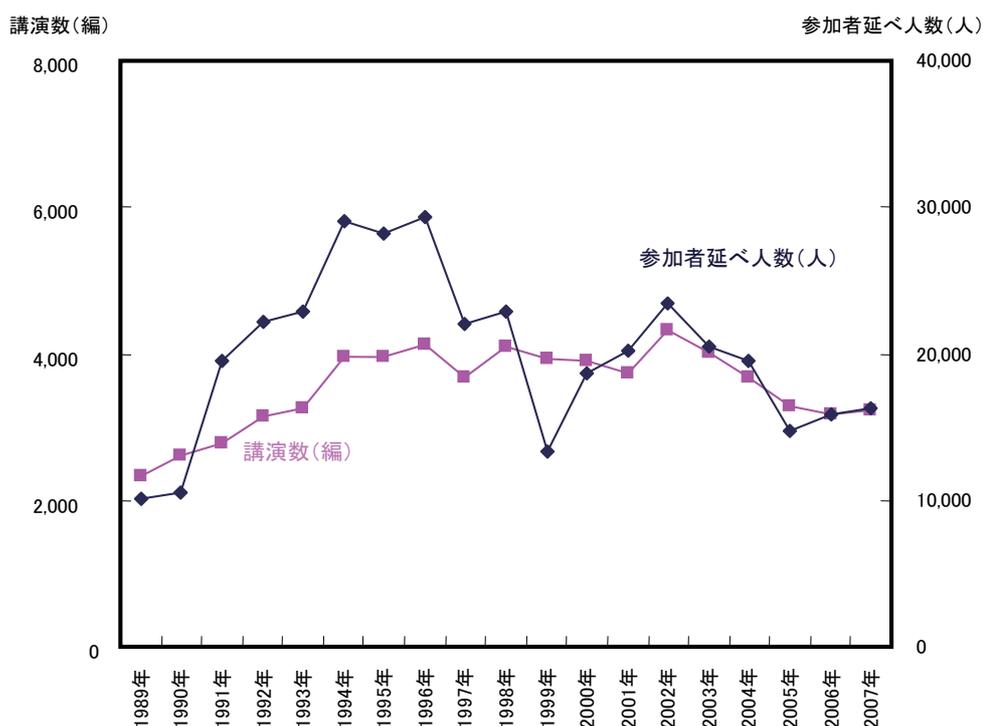
全国大会 年次学術講演会 開催場所

回	年	開催校	担当支部	会長	代	講演数	参加者延べ人数
第44回	1989年	名古屋工業大学	中部	堀川清司	77代	2,332	10,120
第45回	1990年	新潟大学	関東	浅井新一郎	78代	2,600	10,557
第46回	1991年	関西大学	関西	岩佐義朗	79代	2,768	19,544
第47回	1992年	東北大学	東北	藤井敏夫	80代	3,154	22,185
第48回	1993年	九州産業大学	西部	竹内良夫	81代	3,268	22,834
第49回	1994年	北海道大学	北海道	中村英夫	82代	3,961	29,040
第50回	1995年	愛媛大学	四国	小坂忠	83代	3,960	28,255
第51回	1996年	名城大学	中部	松尾稔	84代	4,137	29,308
第52回	1997年	中央大学	関東	宮崎明	85代	3,682	22,000
第53回	1998年	神戸大学	関西	岡田宏	86代	4,087	22,903
第54回	1999年	広島大学	中国	岡村甫	87代	3,921	13,400
第55回	2000年	東北大学	東北	鈴木道雄	88代	3,890	18,680
第56回	2001年	熊本大学	西部	丹保憲仁	89代	3,743	20,231
第57回	2002年	北海道大学	北海道	岸清	90代	4,326	23,501
第58回	2003年	徳島大学	四国	御巫清泰	91代	4,011	20,461
第59回	2004年	愛知工業大学	中部	森地茂	92代	3,667	19,487
第60回	2005年	早稲田大学	関東	三谷浩	93代	3,272	14,720
第61回	2006年	立命館大学	関西	濱田政則	94代	3,164	15,868
第62回	2007年	広島大学	中国	石井弓夫	95代	3,217	16,233

全国大会のページ: <http://www.jsce.or.jp/committee/zenkoku/index.shtml>

* 1999年広島大会は台風のため投稿数で集計

年次学術講演会 講演数と参加者延べ人数の推移

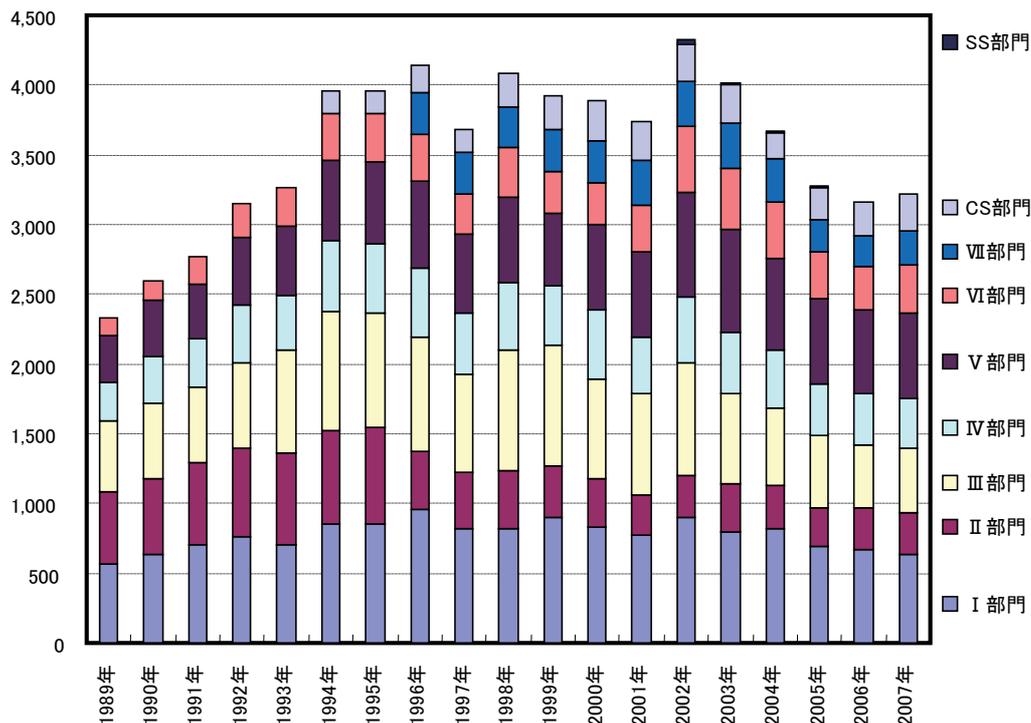


* 1999年広島大会は台風のため投稿数で集計

* 参加者延べ人数は各セッションの参加者数の合計

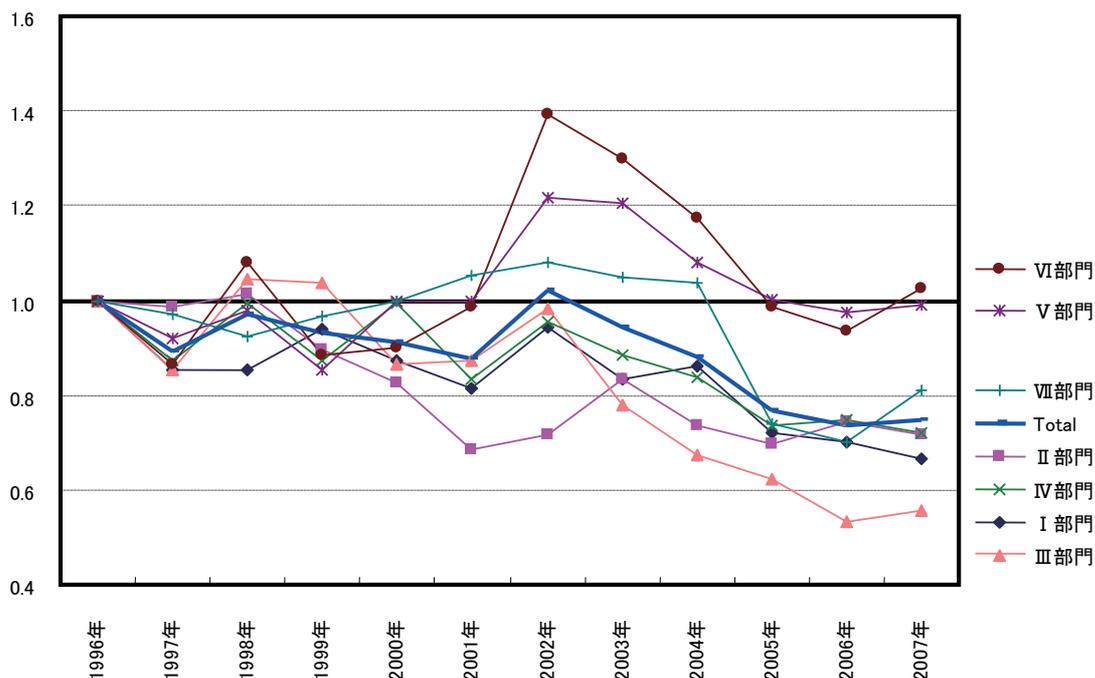
年次学術講演会 部門別講演数の推移

講演数(編)



* 1999年広島大会は台風のため投稿数で集計

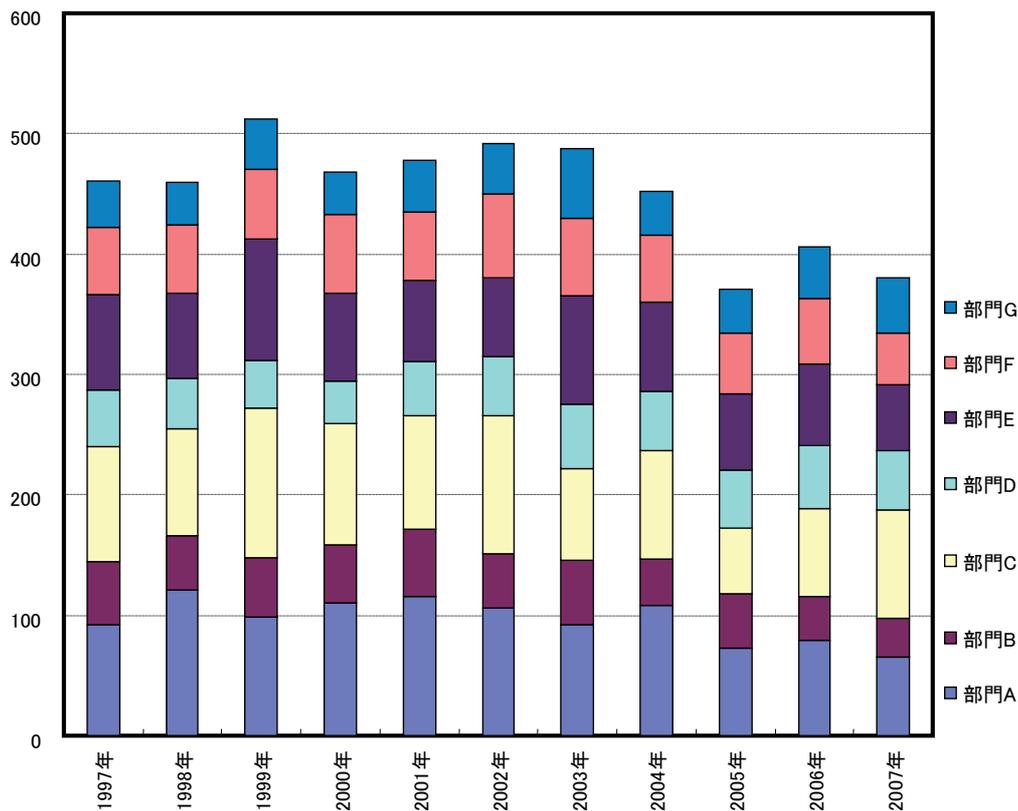
年次学術講演会 部門別講演数の推移 (1996年を1.0とした場合)



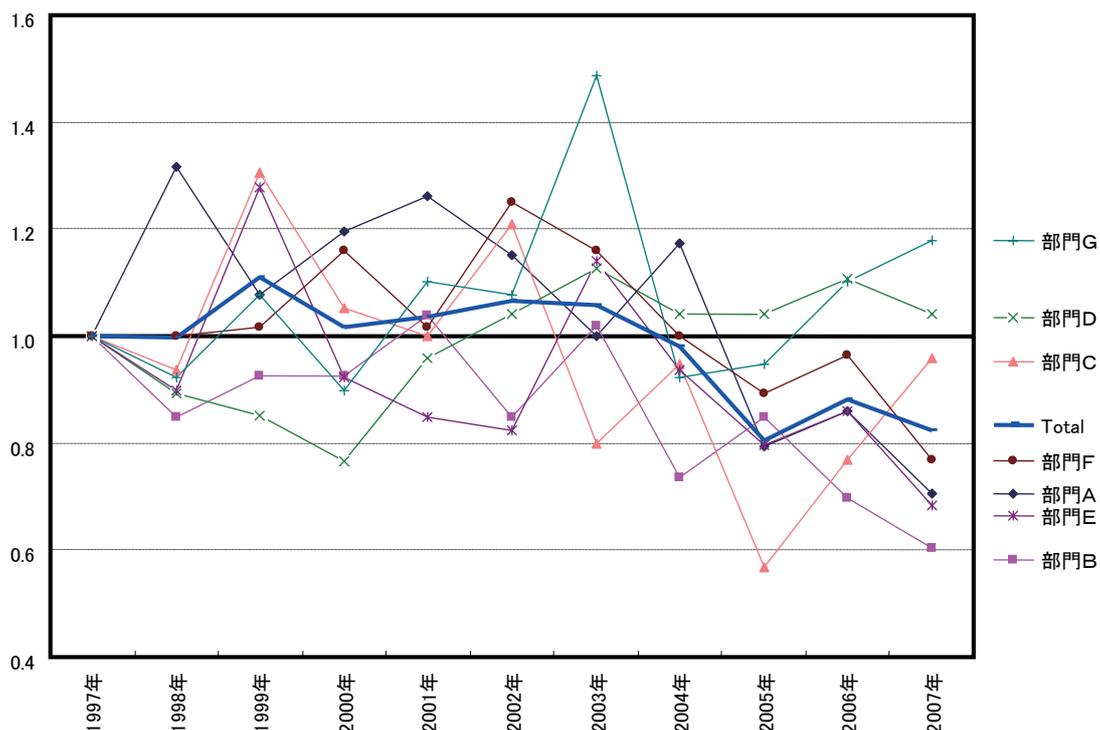
* 1999年広島大会は台風のため投稿数で集計

土木学会論文集 掲載数

掲載数(編)

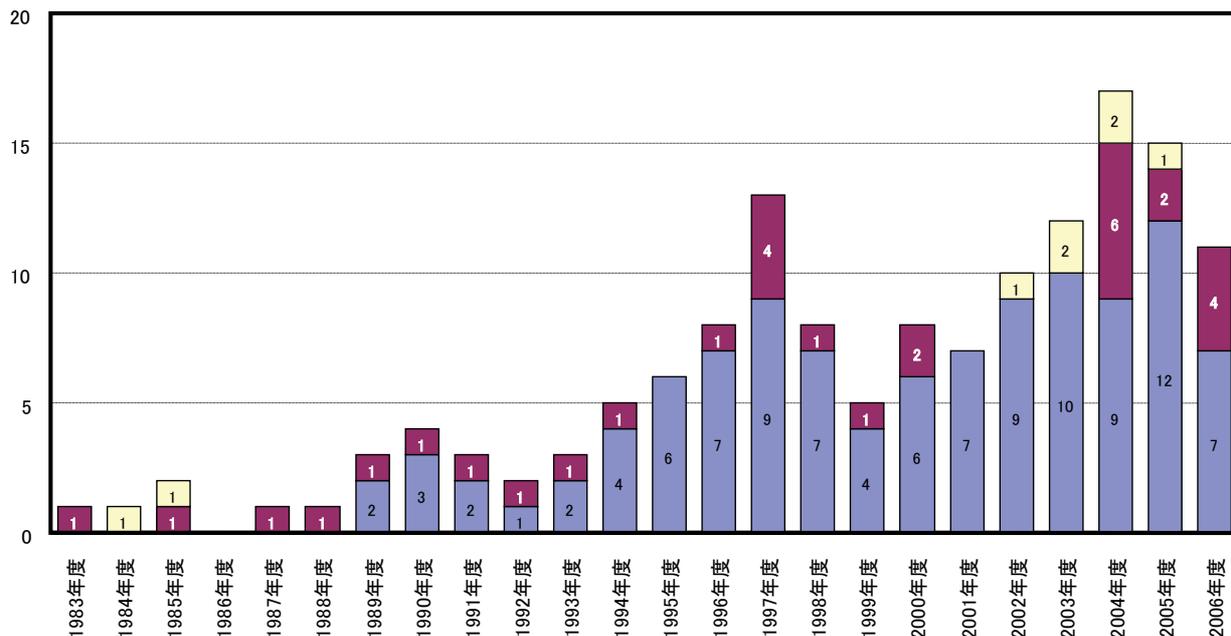


土木学会論文集 掲載数 (1997年を1.0とした場合の推移)



記者発表数

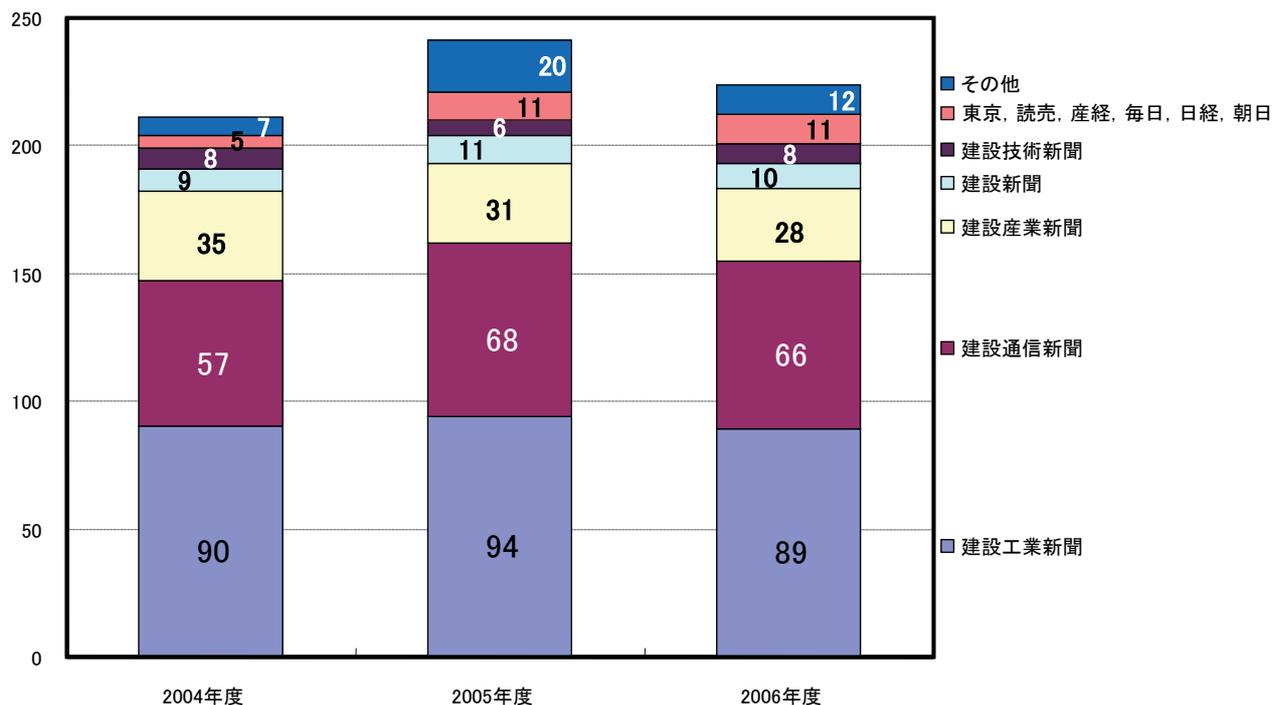
発表数(回)



- 委員会主催災害関連速報会・報告会 → 委員会主催の災害関連速報会・報告会
- 速報会・報告会・懇談会 → 本部主催の災害関連速報会・報告会・懇談会
- 記者発表 → 土木学会賞、会長就任インタビュー、報道機関懇談会、「土木の日」会長インタビュー等

新聞掲載数

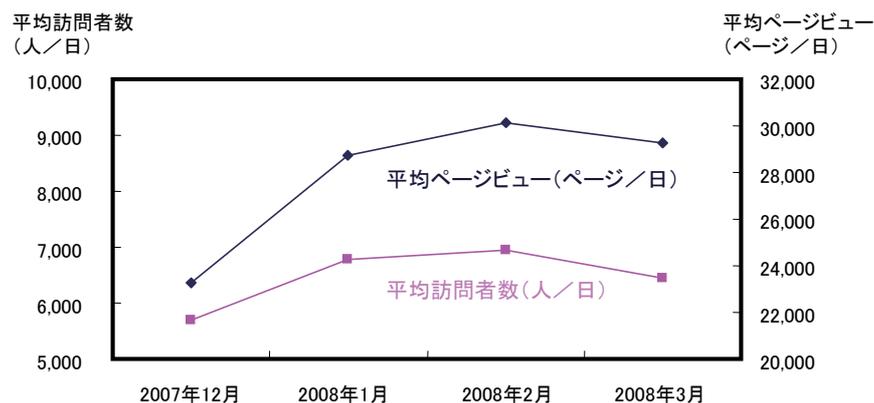
掲載数(回)



学会ホームページの閲覧状況

訪問者数およびページビュー

	2007年12月	2008年1月	2008年2月	2008年3月
訪問者数（人）	176,510	209,863	201,457	199,350
ページビュー数合計（ページ）	721,239	890,278	874,656	906,436
平均訪問者数（人／日）	5,694	6,770	6,947	6,431
平均ページビュー（ページ／日）	23,266	28,719	30,162	29,241



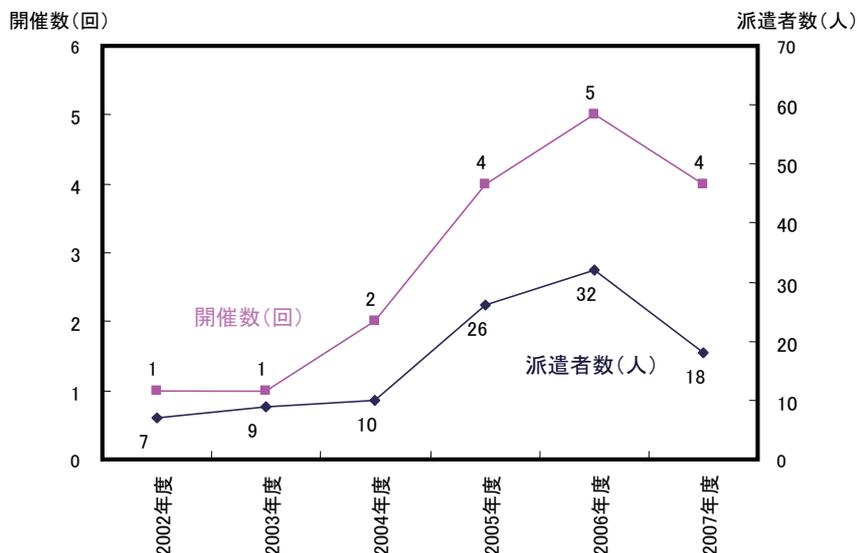
最もリクエストが多かったページ(トップ5)

	2007年12月	2008年1月	2008年2月	2008年3月
1	土木学会論文集	CPD	CPD	全国大会
2	新着情報	土木学会論文集	コンクリート委員会	土木計画学研究委員会
3	技術者資格	龐大橋	全国大会	コンクリート委員会
4	全国大会	全国大会	技術者資格	CPD
5	CPD	学術論文等公開ページ	土木計画学研究委員会	技術者資格

* トップページ、図書館、目録書誌検索、刊行物案内、行事申込、学会誌会告、支部ページは除く

国際ジョイントセミナー開催数と派遣者数

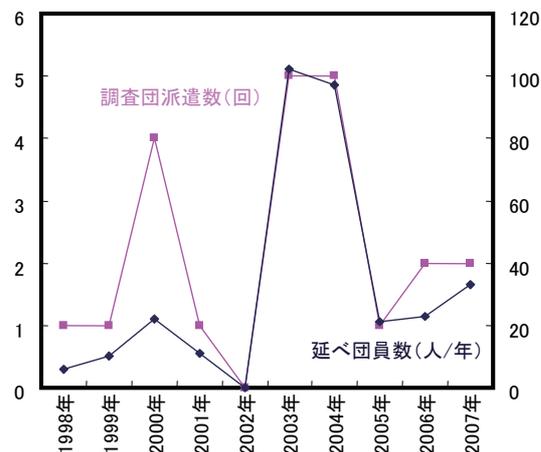
	開催数(回)	派遣者数(人)	開催国別派遣者数(人)
2002年度	1	7	タイ: 7
2003年度	1	9	韓国: 9
2004年度	2	10	フィリピン: 5、台湾: 5
2005年度	4	26	モンゴル: 6、バングラディッシュ: 5、韓国: 7、ベトナム: 8
2006年度	5	32	インド: 6、ベトナム: 7、韓国: 7、中国: 5、タイ: 7
2007年度	4	18	モンゴル: 6、タイ: 5、韓国: 3、台湾: 4



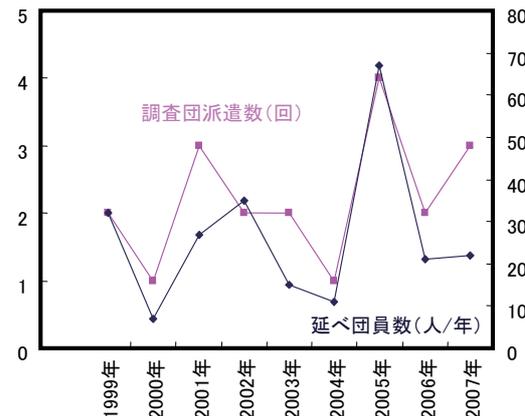
国際ジョイントセミナーのページ: <http://www.jsce.or.jp/kokusai/js.shtml>

災害調査団派遣実績

国内派遣	調査団派遣数(回)	延べ団員数(人/年)	災害名
1998年	1	6	福島・栃木・茨城水害
1999年	1	10	広島県土砂災害
2000年	4	22	有珠山噴火、神津島近海地震、東海豪雨災害、鳥取県西部地震
2001年	1	11	芸予地震
2002年	0	0	
2003年	5	102	三陸南沖地震、九州北部・中部豪雨災害、宮城県北部地震、平成15年8月台風10号豪雨災害・北海道胆振・日高地方災害、十勝沖地震
2004年	5	97	北陸豪雨災害、四国豪雨・高潮災害、平成16年9月台風21・22号災害、平成16年10月台風23号災害、新潟県中越地震災害
2005年	1	21	福岡県西方沖地震
2006年	2	23	平成18年7月豪雨災害、平成18年11月北海道佐呂間町竜巻災害
2007年	2	33	能登半島地震、新潟県中越沖地震

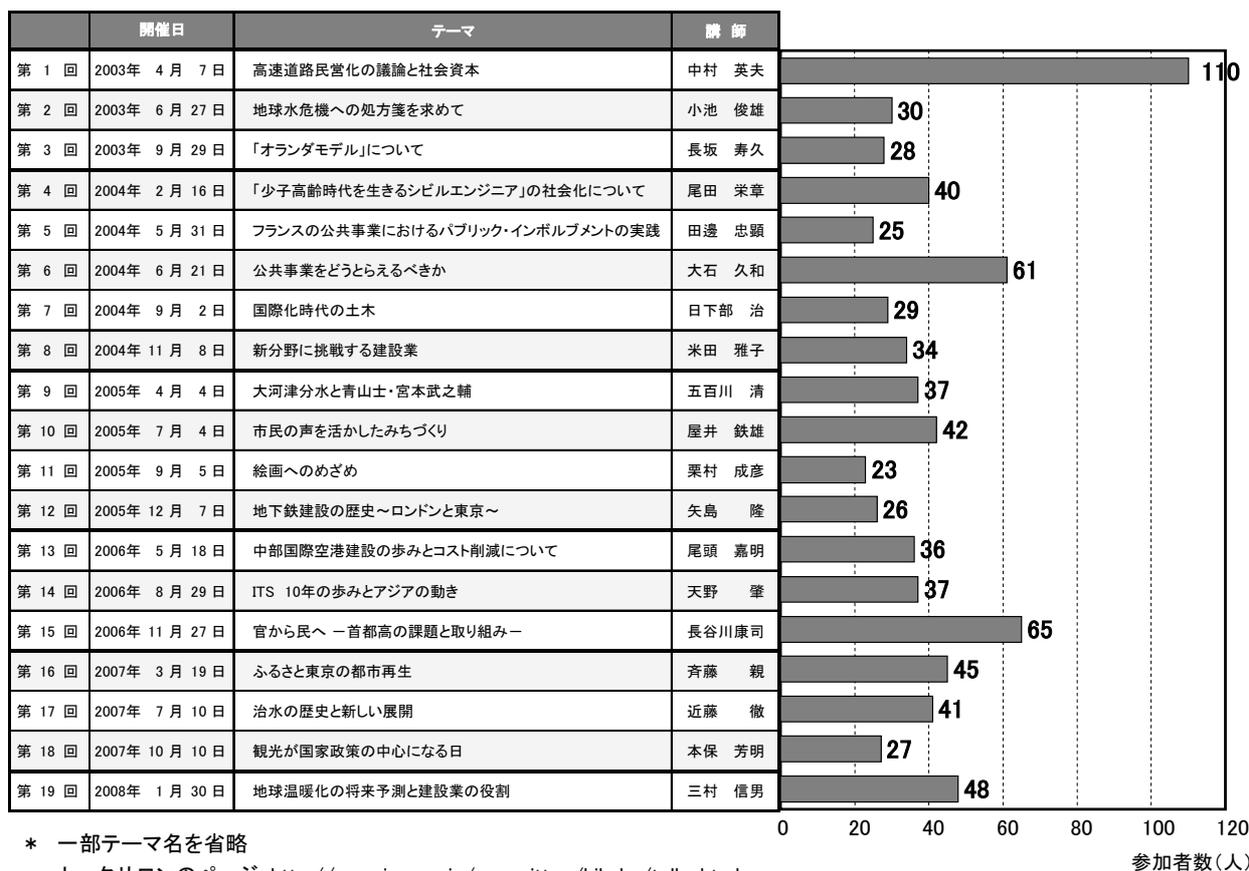


国際派遣	調査団派遣数(回)	延べ団員数(人/年)	派遣国・地域等
1999年	2	32	台湾、トルコ
2000年	1	7	メコン河
2001年	3	27	エルサルバドル、インド、ペルー
2002年	2	35	イラン、ヨーロッパ
2003年	2	15	トルコ、アルジェリア
2004年	1	11	イラン
2005年	4	67	スマトラ、アメリカ、パキスタン、インドネシア
2006年	2	21	ジャワ島、スマトラ
2007年	3	22	ペルー、スマトラ、バングラデシュ

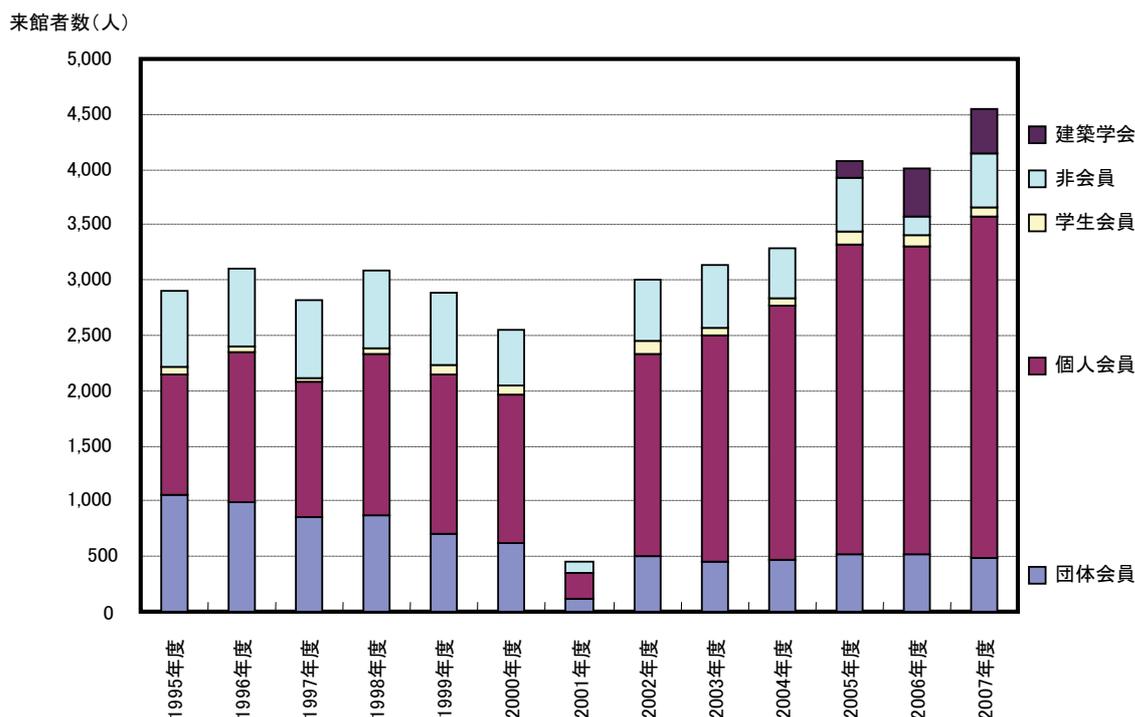


災害速報: <http://www.jsce.or.jp/report/index.shtml#sokuho>

トークサロン参加者数



図書館来館者数



* 2001年に図書館改築

図書館のページ: <http://www.jsce.or.jp/library/index.html>

* 団体会員は、法人会員と特別会員の合計

イブニングシアター参加者数①

	上映月日	上映作品	上映場所			
第1回	2001年11月28日	①石を架けるー石橋文化を築いた人々 他	攻玉社工科短大	32		
第2回	2001年12月19日	①銀座の地下を掘る、②東名高速道路	攻玉社工科短大	46		
第3回	2002年1月23日	①恵那山トンネル、②青函トンネル	攻玉社工科短大	40		
第4回	2002年2月20日	①関門橋、②本州四国連絡橋ー児島・坂出ルート	攻玉社工科短大	39		
第5回	2002年3月27日	①松原・下釜ダム建設記録、②川とともに 他	攻玉社工科短大	23		
第6回	2002年10月30日	①海中基礎に挑むー明石海峡大橋ケーソン設置 他	攻玉社工科短大	27		
第7回	2002年11月27日	①ある碑ー巨大吊橋を支える 他	攻玉社工科短大	45		
第8回	2002年12月18日	①新たななる挑戦ー超大型泥水シールド 他	芝浦工業大	54		
第9回	2003年1月29日	①長大橋の基礎を築くー本四架橋・南北備讃7A 他	芝浦工業大	41		
第10回	2003年2月26日	①ニッポン近代化遺産への旅 他	土木学会講堂	57		
第11回	2003年5月28日	①明日をつつた男ー田辺朝朗と琵琶湖疎水	土木学会講堂		200	
第12回	2003年6月25日	①地域と自然との共生をめざす道づくり 他	土木学会講堂	54		
第13回	2003年7月30日	①21世紀の架け橋ー第二名神高速道路 他	土木学会講堂	31		
第14回	2003年10月1日	①日本の近代化を築いた人々	土木学会講堂	43		
第15回	2003年10月31日	①掘るまいかー手掘り中山隧道の記録	土木学会講堂	90		
第16回	2003年12月10日	①海峡をつないだ技術、②関門橋	攻玉社工科短大	35		
第17回	2004年3月23日	①阪神淡路大震災による道路の被災と復旧 他	土木学会講堂	49		
第18回	2004年7月21日	①銀座の地下を掘る、②羽田海底トンネル	土木学会講堂	25		
第19回	2004年10月6日	①よみがえる川、②高潮に挑む	土木学会講堂	27		
第20回	2004年11月17日	①礎いしづえ、②青函トンネル第一部	土木学会講堂	29		
第21回	2004年12月8日	①掘るまいかー手掘り中山隧道の記録	土木学会講堂	41		

* 一部、上映作品名を省略

イブニングシアターのページ: http://mme.kitera.ne.jp/eve_theater.htm

0 100 200
参加者数(人)

イブニングシアター参加者数②

	上映月日	上映作品	上映場所			
第22回	2005年1月26日	①東名高速道路、②北上川	土木学会講堂	23		
第23回	2005年2月23日	①松原・下釜ダム建設記録、②みんなの下水道	土木学会講堂	20		
第24回	2005年6月22日	①明日をつつた男	土木学会講堂	42		
第25回	2005年8月24日	①掘るまいかー手掘り中山隧道の記録 他	土木学会講堂	60		
第26回	2005年9月28日	①海峡をつないだ技術、②関門橋	土木学会講堂	43		
第27回	2005年11月16日	①有楽町線 掘進 10900米、②多島海を結ぶ 他	土木学会講堂	35		
第28回	2006年1月25日	①都市化が水害を招く、②洪水をなだめた人びと	土木学会講堂	31		
第29回	2006年2月15日	①佐久間ダム・第2部	土木学会講堂	51		
第30回	2006年7月26日	①大深度地下に築く駅、②軟弱地盤に挑む	土木学会講堂	65		
第31回	2006年8月30日	①時を越えて、②次世代のアーチを架ける 他	土木学会講堂	51		
第32回	2006年10月25日	①昭和49年多摩川狛江猪方地先災害復旧記録 他	土木学会講堂	47		
第33回	2006年11月29日	①ザイルに架ける、②黎明のキリマンジャロ	土木学会講堂	48		
第34回	2007年1月31日	①崩れ、②掘るまいか	土木学会講堂	58		
第35回	2007年2月16日	①阪神大震災による道路の被災と復旧 他	土木学会講堂	58		
special ①	2007年7月11日	①街の一体化と安全のために 目黒線不動前 他	文京シビックホール	45		
第36回	2007年7月17日	①街の一体化と安全のために 目黒線不動前 他	土木学会講堂	80		
第37回	2007年8月29日	①崩れ、②民衆のために生きた土木技術者たち	土木学会講堂	53		
special ②	2007年9月12~14日	①街の一体化と安全のために 目黒線不動前 他	広島大学		545	
第38回	2007年10月1日	①石を架ける~石橋文化を築いた人びと~ 他	土木学会講堂	58		
第39回	2007年11月1日	①東京港に虹をかける 他	土木学会講堂	37		
第40回	2007年12月5日	①「荒川放水物語」 他	土木学会講堂	49		

* 一部、上映作品名を省略

イブニングシアターのページ: http://mme.kitera.ne.jp/eve_theater.htm

0 100 200
参加者数(人)

新刊数と刊行物売上額の推移

